

欠陥機

# オスプレイの配備・低空飛行訓練

# 中止を



2012年7月15日 -27号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先>  
県議会議事録執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

米国は6月29日、米海兵隊の垂直離陸機MV22オスプレイの日本への配備を正式に通告しました。私は2日の厚生環境常任委員会で、県民の生命と安全をおびやがず大問題としてとりあげました。

日本共産党の塩川鉄也衆院議員が防衛省から聞き取り、同機に関する環境審査報告書(環境レジュメ)の説明や資料の送付を全国25都県33市町村に対して行っていたことが明らかになりました。

私が、報道では山形県上空もオスプレイ低空飛行訓練(リトル・ブルー・クルート)になっているが、防衛省からは説明があったのかと問いただしたのに対し、須藤勇男危機管理課長は「説明は受けていないが資料が送付されている」と答えました。

## ○低空飛行訓練は予告なし

私は、「オスプレイはこれまで墜落事故を繰り返しており、43人の死傷者が出ています。沖縄県や山口県若国市など



県への要請に同席するゆり子県議(左側最奥)

どでは、危険なオスプレイの配備拒否を表明している状況だ。予告なしの低空飛行訓練は、山形県のドクターヘリや防災ヘリの運行に支

障がないのか、オスプレイの配備および低空飛行訓練をやめるよう県としても姿勢を示すべきだ」と質しました。須藤課長は、「外交、防衛は国の専権事項であり、オスプレイの安全性や配備についても確認中で決まったわけではない。情報収集にとめていきます」と答えました。

私は、「決まっていれば遅い。県民生活を守る立場で、しっかりと対応すべきだ」と主張しました。

「震災、原発事故避難者のための何でも相談会」実行委員会(外塚功実委員長)が4日、県に対して要請を行い、避難者のための雇用医療

私も同席しました。5月19日に開催した相談会の結果を受けて要請したものです。主な内容は、東京電力や国に対して原

## 男女共同参画

私は、同日の厚生環境常任委員会で、県内市町村の男女共同参画計画の策定状況の現状と目標、全国との比較について質問しました。



高橋雅一青少年男女共同参画課長は、「現在35市町村の中で17市町村が策定済み(48.6%)で、計画では平成27年度60%を目標としている。'全国平均は69.9%'と答えました。

私は、「現状は5割に満たず、遅れている。進まない要因をどう捉えているのか。市町村への支援を強化してほしい」と発言しました。

の団体として、今後も継続してできることで支援し、県とも協力していきたい」と発言が盛り込まれた。

危機管理課復興支援室長は、「出されている課題について、国や福島県にも現状を伝え、平野復興大臣が山形県を訪れたときも避難者から直接要望を聞いていた。借

要請では、相談会で寄せられた避難者の声や事例を紹介するとともに、「民間

## 計画策定状況は全国平均以下。遅れを取り戻せ

## 避難者の切実な要求を県に要望

就学など様々な生活支援メニューが中心です。

要請では、相談会で寄せられた避難者の声や事例を紹介するとともに、「民間

## 福島からのさくらんぼ狩りツアー

### ゆり子の視点

6月30日、山形市のさくらんぼ黒園に福島県内からバス1台の親子つれをを迎えました。女性団体、新日本婦人会の企画で、私受け入れたツフの一人として参加しました。

天候は晴れ、「さくらんぼ狩りは初めて、とてもいい。たくさん食べて、たくさん採った」と歓声があちこちであがり、私もうれしげに、さくらんぼ園に向かう道すがら、うれしく飛びまわっている子どもたちにあのお母さんが、「草に触っちゃだめよ」と言いそうになる」と漏らした言葉に、胸をつかれました。

除染が進まず、いまでも土中の健康を気づちのストレスを思うとき、原発事故の深刻さを、あらためて突きつけられたような気がしました。



山形市内の避難者の参加場もあつたと思いましたが、良かったです。